



市章

大津市公報

平成24年12月1日
号外(第51号)

発行所 大津市役所
発行人 大津市
毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

目 次

告 示

234 平成24年度上半期の大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務状況の公表について..... 1

告 示

大津市告示第234号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、平成24年4月1日から同年9月30日までの大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務の状況を次のとおり公表する。

平成24年12月1日

大津市長 越 直 美

第1 水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成24年度上半期末現在の給水戸数は14万5,119戸(対前年同期比0.88%増)、期間給水量は、2,028万3,915m³(対前年同期比1.79%減)となっており、給水収益は28億2,109万円(対前年同期比2.77%減)となっています。

(建設、改良・維持管理)

平成24年度の水道事業は、昨年度見直しを行った「結の湖都・水道ビジョン」(大津市水道ビジョン・重点実行計画)後期計画(平成24年度から平成27年度まで)に基づき、拡張・改良事業を推進しています。

拡張事業では、今年度新たに葛川地区簡易水道の上水道への統合整備工事に着手し、平成28年度の統合完了を目指します。また、柳が崎から膳所浄水場までの間の浄水場連絡管整備については、新たな区間に着手しました。そして、昨年度から実施している、瀬田公園配水池や浄水管理センターの建設については、精力的に推進しています。

改良事業では、健全管路の確保を図り、水の安定供給と漏水防止に努めるため、老朽铸铁管や鉛給水管の布設替工事を計画的に実施しています。また、重要管路である膳所浄水場から茶臼山配水池までの送水管について、今年度から、老朽化に伴う布設替事業に着手しました。

その他、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行いました。

(経理状況)

平成24年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して6,102万円(1.93%)減少し、30億9,379万円となりました。一方、費用総額は5,060万円(2.03%)増加して25億3,955万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き5億5,425万円の純利益を計上しました。

業務実績

区 分	単位	平成24年度 上半期	平成23年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期 末 給 水 戸 数	戸	145,119	143,850	1,269	0.88
期 間 給 水 量	m ³	20,283,915	20,654,153	370,238	1.79
一 日 平 均 給 水 量	m ³	110,841	112,864	2,023	1.79
給 水 収 益	円	2,821,086,664	2,901,466,253	80,379,589	2.77
受 託 工 事 収 益	円	13,764,720	10,440,120	3,324,600	31.84

そ の 他 収 益	円	258,943,609	242,907,055	16,036,554	6.60
総 収 益	円	3,093,794,993	3,154,813,428	61,018,435	1.93
総 費 用	円	2,539,548,949	2,488,948,161	50,600,788	2.03

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成24年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
上水道事業収益	(2,820,574,865)	上水道事業費用	(2,237,525,382)
給水収益	2,817,974,865	浄水費	382,658,248
その他営業収益	2,600,000	配水費	156,773,052
簡易水道事業収益	(3,111,799)	漏水対策費	39,222,220
給水収益	3,111,799	給水費	158,809,434
受託工事収益	(13,764,720)	業務費	156,990,119
受託工事収益	13,764,720	総係費	118,543,309
営業外収益	(256,343,609)	減価償却費	1,222,914,000
受取利息	425,304	資産減耗費	1,615,000
雑収益	86,260,320	簡易水道事業費用	(16,733,465)
繰入金	22,747,985	維持管理費	8,007,465
加入金	146,910,000	減価償却費	8,726,000
		受託工事費用	(22,549,719)
		受託工事費	22,549,719
		営業外費用	(262,740,383)
		支払利息及び企業債取扱諸費	248,876,662
		雑支出	13,863,721
		当期純利益	(554,246,044)
計	3,093,794,993	計	3,093,794,993

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成24年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	[61,989,000,267]	固定負債	[447,394,887]
有形固定資産	(61,916,260,294)	引当金	443,724,342
土地	4,194,637,316	企業債	3,670,545
建物	3,162,577,392	流動負債	[624,838,185]
構築物	76,929,733,625	前受金	425,086,206
機械及び装置	16,916,138,983	その他流動負債	199,751,979
車両運搬具	73,671,007	資本金	[30,642,994,403]
工具器具及び備品	295,892,950	自己資本金	10,171,672,525
減価償却累計額	41,121,708,198	借入資本金	20,471,321,878
建設仮勘定	1,465,317,219	剰余金	[32,047,528,550]
無形固定資産	(67,139,973)	資本剰余金	31,461,277,701
庁舎使用権	48,463,893	利益剰余金	586,250,849

電話加入権	5,807,699	当期純利益	[554,246,044]
施設利用権	12,628,471		
預託金	239,910		
投資	(5,600,000)		
その他投資	5,600,000		
流動資産	[2,328,001,802]		
現金・預金	1,658,327,722		
未収金	575,505,732		
貯蔵品	28,050,873		
その他流動資産	66,117,475		
計	64,317,002,069	計	64,317,002,069

3 平成23年度決算状況

総括事項

平成23年度の水道事業は、安全で安心な水道水を安定して供給するため、平成20年3月に策定した「大津市水道ビジョン・重点実行計画」に基づき、老朽化した送・配水管を計画的に耐震化するとともに、非常時に浄水場間で相互に融通できるよう柳が崎浄水場から膳所浄水場までの間の連絡管を整備しました。また、今後の水需要に対応するため、新瀬田浄水場の浄水処理能力を拡張しました。

経営面では、給水量（有収水量）が前年度を下回ったことに伴い、給水収益が減収となるなど、大変厳しい財政状況でしたが、収益的収支において昨年度に引き続いて純利益を計上することができました。

平成23年度の業務状況は次のとおりです。

給水状況を前年度と比べると、年度末現在給水戸数は1,241戸（対前年比0.87%）増加して143,801戸となり、給水量は87万³m³（対前年比 2.11%）減少して4,067万³m³となりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は2億93万円（対前年比 3.09%）減少して63億252万円となりました。一方、支出総額は4億2,801万円（対前年比7.79%）増加して59億2,462万円となりました。

この結果、平成23年度決算において、3億7,790万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成23年度	平成22年度	比較増減	伸び率 (%)
配水量	m ³	43,991,035	44,933,516	924,481	2.10
一日平均配水量	m ³	120,194	123,106	2,912	2.37
給水量	m ³	40,672,921	41,547,655	874,734	2.11
一日平均給水量	m ³	111,128	113,829	2,701	2.37
年度末現在給水戸数	戸	143,801	142,560	1,241	0.87
年度末現在給水人口	人	338,141	336,520	1,621	0.48

イ 給水戸数内訳（事業別、用途区分別）

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (戸)	伸び率 (%)
	戸数 (戸)	構成比 (%)	戸数 (戸)	構成比 (%)		
上水道	143,522	99.81	141,886	99.53	1,636	1.15
簡易水道	279	0.19	674	0.47	395	58.61
計	143,801	100.00	142,560	100.00	1,241	0.87
家庭用	133,232	92.65	131,991	92.59	962	0.73

工場用	227	0.16	228	0.16	1	0.44
商業用	6,117	4.25	6,188	4.34	71	1.15
公用・学校用	1,502	1.04	1,538	1.08	36	2.34
医療用	440	0.31	439	0.31	1	0.23
公衆浴場用	14	0.01	15	0.01	1	6.67
その他	2,269	1.58	2,161	1.51	108	5.00
計	143,801	100.00	142,560	100.00	962	0.67

(注)用途区分は、新用途分類によるものです。

ウ 給水量内訳(事業別、用途区別)

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (m^3)	伸び率 (%)
	給水量 (m^3)	構成比 (%)	給水量 (m^3)	構成比 (%)		
上水道	40,619,887	99.87	41,380,539	99.60	760,652	1.84
簡易水道	53,034	0.13	167,116	0.40	114,082	68.27
計	40,672,921	100.00	41,547,655	100.00	874,734	2.11
家庭用	30,962,088	76.12	31,383,329	75.54	474,275	1.51
工場用	1,402,127	3.45	1,695,393	4.08	293,266	17.30
商業用	4,719,815	11.60	4,869,991	11.72	150,176	3.08
公用・学校用	2,253,379	5.54	2,282,572	5.49	29,193	1.28
医療用	776,501	1.91	787,990	1.90	11,489	1.46
公衆浴場用	23,094	0.06	25,291	0.06	2,197	8.69
その他	535,917	1.32	503,089	1.21	32,828	6.53
計	40,672,921	100.00	41,547,655	100.00	927,768	2.23

(注)用途区分は、新用途分類によるものです。

エ 事業収益

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業収益	5,653,994,508	89.71	5,850,317,077	89.96	200,517,569	3.43
簡易水道事業収益	8,522,076	0.14	88,256,774	1.36	79,734,698	90.34
受託工事収益	21,422,880	0.34	22,834,650	0.35	1,411,770	6.18
営業外収益	594,511,444	9.43	542,031,675	8.33	52,479,769	9.68
特別利益	24,064,267	0.38	-	-	24,064,267	皆増
計	6,302,515,175	100.00	6,503,440,176	100.00	200,925,001	3.09

オ 事業費用

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業費用	5,155,887,508	87.02	4,835,626,896	87.98	320,260,612	6.62
簡易水道事業費用	38,865,475	0.66	75,403,288	1.37	36,537,813	48.46
受託工事費用	53,228,136	0.90	50,550,517	0.92	2,677,619	5.30
営業外費用	537,830,116	9.08	531,471,772	9.67	6,358,344	1.20
特別損失	138,805,368	2.34	3,553,285	0.06	135,252,083	著 増
計	5,924,616,603	100.00	5,496,605,758	100.00	428,010,845	7.79

カ 平成23年度純利益
377,898,572円

第2 下水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成24年度上半期末現在の調定件数は73万2,973件(対前年同期比1.90%増)、期間有収水量は、1,844万5,968m³(対前年同期比0.23%減)となっており、また下水道使用料は34億1,241万円(対前年同期比0.69%減)となっています。

(建設、改良・維持管理)

本年9月に本市の下水道が昭和37年事業着手から50年の節目を迎えたことを記念して、下水道事業50周年記念事業を実施しました。下水道普及率が約97%を超えた現在、更なる安全で安定した水処理システムの構築を目指すため、改めて、その役割や意義を広く紹介し、計画的な管理の時代に入ったことの理解を得るとともに、健全な水環境のあり方や、資源再利用等、幅広い視点から、環境意識の向上に寄与することを目的に行いました。

その他、各施設の耐震化対策のほか、下水道雨水基本計画に基づく洪水対策の推進、汚泥処理施設の改築更新、下水道普及率の向上を目指し公共下水道未整備地区の汚水管渠整備などを行いました。

(経理状況)

平成24年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して5,465万円(1.09%)減少し、49億6,605万円となりました。一方、費用総額も4,273万円(1.09%)減少して38億6,143万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き11億463万円の純利益を計上しました。

業務実績

区 分	単位	平成24年度 上半期	平成23年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期末調定件数	件	732,973	719,273	13,700	1.90
期間有収水量	m ³	18,445,968	18,488,819	42,851	0.23
一日平均有収水量	m ³	100,798	101,032	234	0.23
下水道使用料	円	3,412,411,769	3,436,118,593	23,706,824	0.69
その他収益	円	1,553,642,878	1,584,587,543	30,944,665	1.95
総 収 益	円	4,966,054,647	5,020,706,136	54,651,489	1.09
総 費 用	円	3,861,426,336	3,904,161,204	42,734,868	1.09

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損益計算書

平成24年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,576,448,019)	営 業 費 用	(3,025,555,978)
下 水 道 使 用 料	3,412,411,769	管渠維持管理費(汚水)	56,602,299
雨 水 処 理 負 担 金	163,966,000	管渠維持管理費(雨水)	1,417,702
そ の 他 営 業 収 益	70,250	終 末 処 理 場 管 理 費	216,696,290
営 業 外 収 益	(1,389,602,312)	汚 泥 焼 却 施 設 管 理 費	649,001
受 取 利 息 及 び 配 当 金	2,331,428	ポ ン プ 場 費	37,776,956
他 会 計 負 担 金	1,375,303,000	処 理 場 費	16,407,795
雑 収 益	11,967,884	流 域 下 水 道 管 理 費	526,110,667
特 別 利 益	(4,316)	業 務 費	61,883,849
固 定 資 産 売 却 益	4,316	総 係 費	71,276,019
		減 価 償 却 費	1,981,455,000
		資 産 減 耗 費	53,720,000
		そ の 他 営 業 費 用	1,560,400
		営 業 外 費 用	(835,870,358)
		支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	835,870,258
		雑 支 出	100
		当 期 純 利 益	(1,104,628,311)
計	4,966,054,647	計	4,966,054,647

貸借対照表

貸借対照表

平成24年9月30日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[146,193,742,281]	固 定 負 債	[636,450,200]
有 形 固 定 資 産	(137,640,782,460)	企 業 債	569,622,200
土 地	1,227,312,296	引 当 金	66,828,000
建 物	1,584,036,005	流 動 負 債	[269,324,219]
構 築 物	128,737,457,463	未 払 費 用	77,202,590
機 械 及 び 装 置	9,566,320,308	そ の 他 流 動 負 債	192,121,629
車 両 及 び 運 搬 具	5,318,890	資 本 金	[77,996,235,425]
工 具、器 具 及 び 備 品	3,309,709	自 己 資 本 金	12,294,838,167
減 価 償 却 累 計 額	9,315,108,542	借 入 資 本 金	65,701,397,258
建 設 仮 勘 定	5,832,136,331	剰 余 金	[69,948,033,327]
無 形 固 定 資 産	(8,534,347,821)	資 本 剰 余 金	67,924,131,014
施 設 利 用 権	8,534,284,120	利 益 剰 余 金	2,023,902,313
地 上 権	44,251	当 期 純 利 益	[1,104,628,311]
そ の 他 無 形 固 定 資 産	19,450		
投 資	(18,612,000)		
流 動 資 産	[3,760,929,201]		
現 金 預 金	3,082,334,304		
未 収 金	604,038,173		
そ の 他 流 動 資 産	74,556,724		
計	149,954,671,482	計	149,954,671,482

3 平成23年度決算状況

総括事項

平成23年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するため、大津市下水道事業経営計画に基づき、管渠整備や施設の改築更新、施設の地震対策、合流式下水道の改善を実施しました。

経営面では、収益については、有収水量の減少に伴い、使用料収入が減少となりましたが、流域下水道維持管理負担金の清算などにより、増収となりました。その結果、収益的収支において純利益を計上することができました。

平成23年度の業務状況は次のとおりです。

下水道普及率を前年度と比べると、0.12ポイント増加して96.78%となり、水洗化率は0.11ポイント増加し97.08%となりました。年間有収水量は30万³m³(0.80%)減少して3,685万³m³となりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は1億9,838万円(対前年比1.85%)増加して108億9,809万円となりました。一方、支出総額は3億5,080万円(対前年比3.80%)減少して88億7,418万円となりました。

この結果、平成23年度決算において、20億2,390万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成23年度	平成22年度	比較増減	伸び率 (%)
下 水 道 普 及 率	%	96.78	96.66	0.12	0.12
水 洗 化 率	%	97.08	96.97	0.11	0.11
年 間 総 処 理 水 量	m ³	48,591,115	48,276,820	314,295	0.65
年 間 有 収 水 量	m ³	36,849,775	37,146,261	296,486	0.80

イ 調定件数内訳(処理区別)

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件 数 (件)	構成比 (%)	件 数 (件)	構成比 (%)		
大 津 処 理 区	507,752	35.13	501,520	35.25	6,232	1.24
藤 尾 処 理 区	23,752	1.64	23,459	1.65	293	1.25
湖 南 中 部 処 理 区	441,705	30.56	433,166	30.44	8,539	1.97
湖 西 処 理 区	471,989	32.66	464,630	32.66	7,359	1.58
計	1,445,198	100.00	1,422,775	100.00	22,423	1.58

ウ 汚水量内訳(処理区別)

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	汚水量 (m ³)	構成比 (%)	汚水量 (m ³)	構成比 (%)		
大 津 処 理 区	12,786,280	34.70	12,914,040	34.76	127,760	0.99
藤 尾 処 理 区	533,310	1.45	537,080	1.45	3,770	0.70
湖 南 中 部 処 理 区	10,923,290	29.64	10,985,089	29.57	61,799	0.56
湖 西 処 理 区	12,606,895	34.21	12,710,052	34.22	103,157	0.81
計	36,849,775	100.00	37,146,261	100.00	296,486	0.80

エ 事業収益

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
下水道使用料	6,817,177,583	62.56	6,890,193,204	64.39	73,015,621	1.06
雨水処理負担金	386,694,142	3.55	361,360,057	3.38	25,334,085	7.01
その他営業収益	288,349	0.00	606,200	0.01	317,851	52.43
営業外収益	2,863,229,435	26.27	2,916,779,318	27.26	53,549,883	1.84
特別利益	830,695,959	7.62	530,767,194	4.96	299,928,765	56.51
計	10,898,085,468	100.00	10,699,705,973	100.00	198,379,495	1.85

オ 事業費用

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
営業費用	7,111,601,901	80.14	7,374,255,550	79.94	262,653,649	3.56
営業外費用	1,757,162,431	19.80	1,845,871,589	20.01	88,709,158	4.81
特別損失	5,418,823	0.06	4,854,748	0.05	564,075	11.62
計	8,874,183,155	100.00	9,224,981,887	100.00	350,798,732	3.80

カ 平成23年度純利益

2,023,902,313円

第3 ガス事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成24年度上半期末現在の供給戸数は94,388戸(対前年同期比0.19%減)、期間販売量は8,206万³m(対前年同期比9.65%減)となりました。また、ガス売上は74億1,483万円(対前年同期比6.19%増)、受注工事収益は10,629万円(対前年同期比14.12%増)となりました。

(建設・改良)

拡張事業については、供給区域内の未供給地区に対して導管網の整備を図りました。なお、平成23年度に近畿経済産業局から供給区域の変更許可を取得した伊香立地区及び上田上地区においてガスの供給を開始しました。

改良事業については、都市ガスの長期安定供給を図るため、経年管の布設替え、耐震性ガス導管網の整備を引き続き行い、ガス漏れの予防保全、災害に強いガス設備の整備に努めています。

保安対策については、ガス設備安全点検及びガス機器の安全使用の周知、安全装置付機器への取替え促進を実施したほか、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行うとともに、ガス漏れ、火災発生時に緊急出動を行い、二次災害の防止に努めました。

(経理状況)

平成24年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して3億9,085万円(5.31%)増加し、77億4,898万円となりました。一方、費用総額は1億9,805万円(3.00%)増加して68億645万円となりました。

この結果、当期の収支は、差引き9億4,254万円の純利益を計上しました。

業務実績

区 分	単位	平成24年度 上半期	平成23年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期末供給戸数	戸	94,388	94,568	180	0.19
期間販売量	m ³	82,057,340	90,821,646	8,764,306	9.65

一日平均販売量	m ³	448,401	496,293	47,892	9.65
ガス売上	円	7,414,832,783	6,982,475,573	432,357,210	6.19
受注工事収益	円	106,293,992	93,139,727	13,154,265	14.12
その他収益	円	227,857,616	282,523,799	54,666,183	19.35
総収益	円	7,748,984,391	7,358,139,099	390,845,292	5.31
総費用	円	6,806,445,299	6,608,393,595	198,051,704	3.00

販売量は、45MJ/m³に換算したものです。

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成24年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
製 品 売 上	(7,414,832,783)	営 業 費 用	(6,649,613,350)
ガ ス 売 上	7,414,832,783	売 上 原 価	5,375,160,271
営 業 雑 収 益	(107,227,315)	供 給 販 売 費	1,165,766,292
受 注 工 事 収 益	106,293,992	一 般 管 理 費	108,686,787
そ の 他 営 業 雑 収 益	933,323	営 業 雑 費 用	(98,076,994)
営 業 外 収 益	(226,924,293)	受 注 工 事 費 用	98,076,994
受 取 利 息	7,191,867	営 業 外 費 用	(58,754,955)
雑 収 益	35,159,426	支 払 利 息	44,651,304
修 繕 引 当 金 戻 入 益	184,573,000	雑 支 出	14,103,651
		当 期 純 利 益	(942,539,092)
計	7,748,984,391	計	7,748,984,391

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成24年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[12,098,125,104]	固 定 負 債	[5,815,644,511]
有 形 固 定 資 産	< 10,074,998,348 >	企 業 債	2,909,673,045
供 給 設 備	(41,164,993,842)	退 職 給 与 引 当 金	1,273,241,466
土 地	601,405,836	修 繕 引 当 金	1,632,730,000
建 物	1,165,523,349	流 動 負 債	[1,351,874,067]
構 築 物	133,044,481	買 掛 金	893,094,807
機 械 装 置	961,027,278	前 受 金	55,536,927
導 管	37,899,112,218	預 り 金	22,120,317
ガ ス メ ー タ ー	204,869,166	そ の 他 流 動 負 債	381,122,016
車 両 運 搬 具	57,200,039	資 本 金	[15,028,724,686]
工 具 器 具 及 び 備 品	142,811,475	自 己 資 本 金	15,028,724,686
供 給 設 備 減 価 償 却 累 計 額	(31,719,077,690)	剰 余 金	[3,428,539,256]
業 務 設 備	(505,979,565)	資 本 剰 余 金	< 38,902,738 >
土 地	129,914,228	工 事 負 担 金 積 立 金	25,708,192

建 物	263,006,343	負 担 金	13,194,546
構 築 物	89,193,947	利 益 剰 余 金	< 3,389,636,518 >
車 両 運 搬 具	3,184,717	減 債 積 立 金	402,470,141
工 具 器 具 及 び 備 品	20,680,330	未 処 分 利 益 剰 余 金	1,437,166,377
業 務 設 備 減 価 償 却 累 計 額	(265,653,190)	原 価 変 動 調 整 積 立 金	950,000,000
建 設 仮 勘 定	(388,755,821)	災 害 対 策 積 立 金	600,000,000
無 形 固 定 資 産	< 890,756 >	当 期 純 利 益	[942,539,092]
電 話 加 入 権	711,976		
預 託 金	178,780		
投 資	< 2,022,236,000 >		
投 資 有 価 証 券	1,999,630,000		
そ の 他 投 資	22,606,000		
流 動 資 産	[14,469,196,508]		
現 金 ・ 預 金	1,685,716,317		
売 掛 金	1,263,050,467		
未 収 金	29,595,666		
現 金 ・ 預 金 (大 口 預 金)	11,000,000,000		
貯 蔵 品	81,100,504		
そ の 他 流 動 資 産	409,733,554		
計	26,567,321,612	計	26,567,321,612

3 平成23年度決算状況

総括事項

ガス事業においては、安定供給や保安の確保を図るため、導管網の整備を計画的に実施し、施設の整備改良や需要家設備の安全点検などの保安対策、地震等災害対策にも力を注ぎました。

経営環境としては、他エネルギー事業者との競争や東日本大震災以降における全国的な省電力化への取組と関連したエネルギー節約の影響など、これまでにない厳しい状況下でした。

経営面では、販売量は工業用を中心に減少しましたが、経費が減少したことなどにより、本年度も収益的収支において純利益を計上することができました。

平成23年度の業務状況は次のとおりです。

供給状況を前年度と比べると、年度末現在供給戸数は215戸（0.23%）減少して94,293戸に、一方販売量は883万 m^3 （4.52%）減少して1億8,659万 m^3 となりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は8億2,681万円（5.29%）増加して164億5,502万円となりました。一方、支出総額は8億5,040万円（6.00%）増加して150億1,785万円となりました。

この結果、平成23年度決算において、14億3,717万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単 位	平成23年度	平成22年度	比較増減	伸び率 (%)
購 入 量	m^3	178,604,134	187,804,336	9,200,202	4.90
一 日 平 均 購 入 量	m^3	487,989	514,532	26,543	5.16
販 売 量	m^3	186,587,132	195,413,903	8,826,771	4.52
一 日 平 均 販 売 量	m^3	509,801	535,381	25,580	4.78
年 度 末 現 在 供 給 戸 数	戸	94,293	94,508	215	0.23

イ 販売件数内訳（ガス種別 用途別）

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件 数 (件)	構成比 (%)	件 数 (件)	構成比 (%)		

都 市 ガ ス	94,269	99.97	94,484	99.97	215	0.23
L P G	24	0.03	24	0.03	0	0
計	94,293	100.00	94,508	100.00	215	0.23
家 庭 用	90,694	96.18	90,848	96.13	154	0.17
工 業 用	73	0.08	76	0.08	3	3.95
商 業 用	2,527	2.68	2,580	2.73	53	2.05
公 用	742	0.79	750	0.79	8	1.07
医 療 用	257	0.27	254	0.27	3	1.18
計	94,293	100.00	94,508	100.00	215	0.23

ウ 販売量内訳(ガス種別 用途別)

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	販売量 (m ³)	構成比 (%)	販売量 (m ³)	構成比 (%)		
都 市 ガ ス	186,580,600	100.00	195,407,194	100.00	8,826,594	4.52
L P G	6,532	0.00	6,709	0.00	177	2.64
計	186,587,132	100.00	195,413,903	100.00	8,826,771	4.52
家 庭 用	38,365,327	20.56	39,309,581	20.12	944,254	2.40
工 業 用	121,903,050	65.34	127,909,536	65.45	6,006,486	4.70
商 業 用	13,325,627	7.14	14,237,673	7.29	912,046	6.41
公 用	9,243,165	4.95	9,996,613	5.11	753,448	7.54
医 療 用	3,749,963	2.01	3,960,500	2.03	210,537	5.32
計	186,587,132	100.00	195,413,903	100.00	8,826,771	4.52

(注) 購入量及び販売量は、45MJ/m³に換算したものです。

エ 事業収益

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
製 品 売 上	15,830,452,329	96.20	14,517,003,322	92.89	1,313,449,007	9.05
営 業 雑 収 益	248,274,030	1.51	185,899,171	1.19	62,374,859	33.55
営 業 外 収 益	376,289,715	2.29	90,505,635	0.58	285,784,080	著 増
特 別 利 益	-	-	834,798,000	5.34	834,798,000	皆 減
計	16,455,016,074	100.00	15,628,206,128	100.00	826,809,946	5.29

オ 事業費用

区 分	平成23年度		平成22年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		

売 上 原 価	11,356,209,263	75.62	9,925,110,816	70.05	1,431,098,447	14.42
供 給 販 売 費	2,884,083,426	19.20	3,079,570,202	21.74	195,486,776	6.35
一 般 管 理 費	392,085,768	2.61	326,840,823	2.31	65,244,945	19.96
営 業 雑 費 用	272,245,027	1.81	203,563,714	1.44	68,681,313	33.74
営 業 外 費 用	107,635,288	0.72	119,532,887	0.84	11,897,599	9.95
特 別 損 失	5,590,925	0.04	512,832,267	3.62	507,241,342	98.91
計	15,017,849,697	100.00	14,167,450,709	100.00	850,398,988	6.00

カ 平成23年度純利益

1,437,166,377円

第4 病院事業

1 事業の概況

平成24年度上半期における患者数は、入院患者数77,845人、外来患者数121,033人、合計で198,878人となり、前年同期に比べ、入院患者数で788人(1.0%)減少し、外来患者数で2,189人(1.8%)増加しました。

次に、当期における収支状況については、病院事業収益は医業収益が54億3,380万円、医業外収益等が6億4,069万円で総額60億7,449万円となり、前年同期に比べ4,851万円(0.8%)の増加となりました。

一方、病院事業費用は54億6,928万円となり、前年同期に比べ1億6,180万円(3.0%)の増加となり、当期末の純利益は6億521万円(前年同期は7億1,850万円の純利益)となりました。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成24年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
病 院 事 業 収 益	[6,074,494,931]	病 院 事 業 費 用	[5,469,284,793]
医 業 収 益	(5,433,796,667)	医 業 費 用	(5,109,972,717)
入 院 収 益	3,884,978,220	給 与 費	2,937,941,138
外 来 収 益	1,259,925,355	材 料 費	891,904,166
そ の 他 医 業 収 益	288,893,092	経 費	827,646,645
医 業 外 収 益	(640,082,488)	減 価 償 却 費	439,944,000
看 護 専 門 学 校 収 益	19,802,148	資 産 減 耗 費	0
受 取 利 息 配 当 金	76,034	研 究 研 修 費	12,536,768
他 会 計 負 担 金	354,749,000	医 業 外 費 用	(315,773,401)
他 会 計 補 助 金	169,896,000	看 護 専 門 学 校 費	70,530,587
補 助 金	0	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	181,058,371
託 児 所 収 益	1,937,434	託 児 所 費	7,565,200
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	43,228,611	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	27,457,587

その他医業外収益	50,393,261	繰延勘定償却	28,554,000
特別利益	(615,776)	雑損失	607,656
固定資産売却益	0	特別損失	(43,538,675)
過年度損益修正益	615,776	固定資産売却損	15,213
その他特別利益	0	過年度損益修正損	43,523,462
		その他特別損失	0
		当期純利益	[605,210,138]
計	6,074,494,931	計	6,074,494,931

貸借対照表

貸借対照表

平成24年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[17,644,425,264]	流 動 負 債	[308,707,345]
土 地	6,033,388,819	未 払 金	240,709,141
建 物	22,416,841,576	未 払 費 用	0
建物減価償却累計額	12,223,538,145	その他流動負債	67,998,204
構 築 物	174,146,726	資 本 金	[30,102,631,204]
構築物減価償却累計額	80,115,783	自 己 資 本 金	14,262,161,234
器 械 備 品	4,343,702,049	借 入 資 本 金	15,840,469,970
器械備品減価償却累計額	3,026,610,440	剰 余 金	[10,562,787,659]
車 両 運 搬 具	3,906,151	資 本 剰 余 金	1,769,108,629
車両運搬具減価償却累計額	3,710,843	利 益 剰 余 金	12,331,896,288
その他有形固定資産	5,250,000	当 期 純 利 益	[605,210,138]
電 話 加 入 権	1,165,154		
流 動 資 産	[2,503,573,177]		
現 金 ・ 預 金	510,632,688		
未 収 金	1,820,179,323		
貯 蔵 品	56,562,674		
前 払 金	3,827,500		
その他流動資産	112,370,992		
繰 延 勘 定	[305,762,587]		
控除対象外消費税額	297,427,836		
退 職 給 与 金	8,334,751		
計	20,453,761,028	計	20,453,761,028

3 平成23年度の決算状況

平成23年度の病院事業は、平成21年3月に策定した病院改革プランの最終年度であり、「高度・専門医療の提供」「経営基盤の強化」「医療の質・患者サービスの向上」を目標に、健診部を拡充し、人間ドックの受入れ体制を強化充実させるほか、MRI増設事業に着手するなど地域医療を支える中核病院として、医療サービスの充実に努めました。

経営面では、入院収益が堅調に推移したことから、改革プランの目標でもありました経常収支の黒字化は昨年度に引き続き達成することができましたが、固定資産の耐用年数修正に伴い減価償却費の過少計上分を特別損失に計上したことから、大幅な純損失となりました。

当期における患者数については、393,957人(入院患者数156,122人、外来患者数237,835人)で、前年度に比べ1,911人の増加となりました。

また、収支の状況については、病院事業収益は、医業収益が107億5,862万円で、前年度に比べ1億8,820万円(1.8%)の増加となり、医業外収益等は12億9,644万円で、前年度に比べ482万円(0.4%)の減少となり、合計120億5,506万円で、前年度に比べ1億8,338万円(1.5%)の増加となりました。

一方、病院事業費用は、医業費用が110億6,890万円で、前年度に比べ4億1,052万円(3.9%)の増加となり、医業外費用は8億8,578万円で、前年度に比べ2,685万円(2.9%)の減少となりました。また、特別損失については39億5,377万円で、前年度に比べ38億5,665万円の大幅な増加となりました。よって、合計159億845万円で、前年度に比べ42億4,032万円(36.3%)の増加となりました。

この結果、平成23年度決算は、38億5,339万円の純損失を計上することとなりました。

第5 介護老人保健施設事業

1 事業の概況

平成24年度上半期における短期入所を含む入所者数は17,329人で、通所者数は1,933人であり、前年同期に比べると、短期入所を含む入所者数は34人(0.2%)増加し、通所者数は159人(7.6%)の減少となりました。

次に、当期における収支状況については、収入において、施設運営事業収益が2億3,190万円、施設運営事業外収益が7,832万円、特別利益が5万円で総額3億1,027万円となり、前年同期に比べ260万円(0.8%)の増加となりました。

一方、支出において、施設運営事業費用が2億5,100万円、施設運営事業外費用が2,128万円、特別損失が1万円で総額2億7,229万円となり、前年同期に比べ771万円(2.8%)減少し、当期末の純利益は3,798万円(前年同期2,766万円)となりました。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成24年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
施設運営事業収益	(231,904,602)	施設運営事業費用	(251,000,249)
介護報酬収益	203,593,223	給 与 費	183,807,854
施設利用料収益	27,598,682	材 料 費	17,282,046
その他施設運営事業収益	712,697	経 費	17,926,160
施設運営事業外収益	(78,315,999)	委 託 費	19,860,891
受取利息配当金	7,798	研 修 費	63,052
他会計負担金	67,318,000	減 価 償 却 費	12,060,246
補助金	944,482	施設運営事業外費用	(21,280,951)
老人介護支援センター事業収益	9,161,207	支払利息及び企業債取扱諸費	14,251,268
その他施設運営事業外収益	884,512	老人介護支援センター事業費	7,029,683
特別利益	(50,004)	特別損失	(10,514)
過年度損益修正益	50,004	過年度損益修正損	10,514
		当期純利益	(37,978,891)
計	310,270,605	計	310,270,605

貸借対照表

貸借対照表

平成24年9月30日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	(1,225,838,227)	固 定 負 債	(7,000,000)
土 地	643,950,000	退職給与引当金	0
建 物	1,342,825,550	修繕引当金	7,000,000
建物減価償却累計額	764,925,000	流 動 負 債	(100,624,630)
医療用器械備品	3,671,287	一時借入金	100,000,000
医療用器械備品減価償却累計額	3,487,722	未 払 金	0
車 両	8,614,346	預 り 金	528,073
車両減価償却累計額	8,183,628	その他流動負債	96,557
その他器械備品	18,183,375	資 本 金	(1,675,074,189)
その他器械備品減価償却累計額	15,246,781	自己資本金	830,154,663
電話加入権	436,800	借入資本金	844,919,526
流 動 資 産	(149,569,128)	剰 余 金	(445,270,355)
現金・預金	71,394,553	資本剰余金	2,416,023
施設運営事業未収金	73,860,782	利益剰余金	447,686,378
施設運営事業外未収金	1,489,843	当 期 純 利 益	(37,978,891)
その他流動資産	2,823,950		
計	1,375,407,355	計	1,375,407,355

3 平成23年度の決算状況

開設から16年目に当たる本年度は、通所者数は過去最高であった昨年度を下回りましたが、入所者数は過去最高となり収益は増収となりました。費用については、縮減に努めてまいりましたが、人件費の増加、固定資産の耐用年数修正に伴う減価償却費の過少計上分により、多額の純損失を計上することとなりました。

利用状況については、入所は延べ34,464人(長期入所33,073人、短期入所1,391人)で、前年度に比べ590人(1.7%)の増加、一方、通所は延べ4,083人で、前年度に比べ93人(2.2%)の減少となりました。

収支状況については、収入において、施設運営事業収益が4億6,595万円で、前年度と比較して497万円(1.1%)増加し、施設運営事業外収益が1億5,863万円で、前年度に比べ1,890万円(13.5%)の増加となり、合計6億2,458万円で、前年度に比べると2,386万円(4.0%)の増加となりました。

一方、支出においては、施設運営事業費用が6億1,130万円で、前年度に比べ3,415万円(5.9%)増加し、施設運営事業外費用が4,434万円で、前年度に比べ765万円(20.8%)増加し、特別損失3億4,685万円を合わせ合計10億249万円、前年度に比べると3億8,864万円(63.3%)の増加となりました。

この結果、3億7,791万円の純損失を計上することとなりました。

また、資本金収入は、出資金が3,370万円であり、資本金支出は、企業債償還金の5,055万円で、収支の不足額1,685万円は、過年度分損益勘定留保資金と当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

なお、本年度において、資金不足は生じていません。